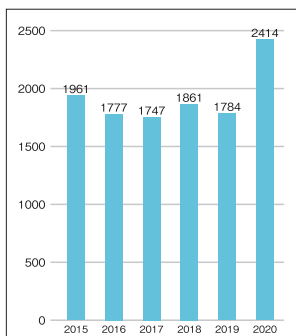


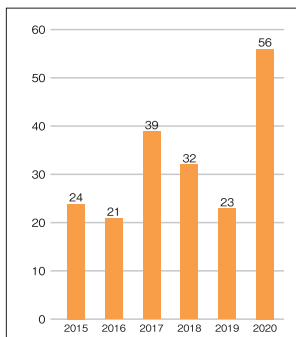
未来へつなぐ

Vol.
141

文／本間 吾里砂



年度別 鹿衝突件数



年度別 熊発見・衝突件数

クマやシカが線路内に侵入！年々増加する野生動物との衝突事故
安全を最優先に、北海道特有の問題にも的確に対処しています

JR発足後最多を記録 クマやシカとの衝突事故

今年六月、札幌市東区の住

宅街にクマが出没したのは記憶に新しいところ。南区や手稲区と違い、山のない東区ではクマの目撃情報は皆無に等しいことから、想定外のこととして札幌市民に衝撃を与えました。また、道東や道北に生息するエゾシカも札幌市内でひんぱんに目撃されており、野生動物が人間の生活圏に侵入する事例は後を絶ちません。野生動物による被害は都市部においても大きな問

題となっていますが、地方はさらに深刻です。それは、列車の運行に支障をきたしていることからよくわかります。

今年六月、札幌市東区の住宅街にクマが出没したのは記憶に新しいところ。南区や手稲区と違い、山のない東区ではクマの目撃情報は皆無に等しいことから、想定外のこととして札幌市民に衝撃を与えました。また、道東や道北に生息するエゾシカも札幌市内でひんぱんに目撃されており、野生動物が人間の生活圏に侵入する事例は後を絶ちません。野生動物による被害は都市部においても大きな問

安全確保が最優先 段取りに従って運転再開

線路付近でシカやクマを発

見すると、運転士はすぐに非常ブレーキをかけますが、多くの場合、緊急停止するまでに衝突してしまいます。その際、スムーズに運転を再開できるように、JR北海道では復旧までの段取りを整備しています。たとえば、衝突したのがシカであれば、乗務員が降車し、シカを線路内から線路外へと移動させます。その後、車両および周囲の点検を実施するとともに関係各所へ連絡を入れ、問題がなければ運転を再開します。一方、連絡を受けた保線社員は現地へと向かい、シカの回収に当たります。ただし、衝突したのがクマの場合は、車両の中から現地状況を確認するだけとし、乗務員が降車することはありません。



花咲線の線路に侵入したエゾシカ

運転再開後、保線社員は付近に仲間のクマがいる可能性を考慮し、ハンターを手配してからクマの除去へと向かいます。

通常、衝突してから除去完了までの時間は約三時間から半日程度ですが、夜間の作業や車両の下にシカやクマを巻き込んでしまったとき、現地に到着するまで時間を要する冬期などは半日から二日以上かかることもあります。

JR北海道は、お客さまと乗務員の安全、さらには列車の安定輸送を確保するため、こうした北海道特有の問題にも的確に対処しています。